

研究の仮説	新鮮で意外性のある教材とその提示方法を工夫し、児童の興味関心や思考が動き出す場面を設定すれば、追究していきたいと心から感じるさまざまな問いを引き出すことができるだろう。
-------	--

1 単元名 かわってきた人々の暮らし（古い道具と昔の暮らし）

2 目標

- 昔の道具や暮らしの様子に関心をもち、意欲的に調べようとする。 (社会的事象への関心・意欲・態度)
- 今と昔の道具や暮らしの違いや変化に気づき、追究したい問題を見出し、表現することができる。 (社会的な思考・判断・表現)
- 昔と今の道具や暮らしの違いから、昔の人々の知恵や工夫、願いについて考え、自分の言葉で表現することができる。 (社会的な思考・判断・表現)
- 体験や見学、聞き取りを通して昔の道具や暮らし、その変化について必要な情報を集め、絵年表やノートにまとめることができる。 (観察・資料活用)の技能)
- 昔の道具や暮らし、その変化が人々の願いや知恵によるものであることを理解することができる。 (社会的事象についての知識・理解)

3 指導にあたって

(1) 児童の実態（男子10名、女子11名、計21名）

本学級では、社会の学習に興味・関心をもっている児童が多く意欲的に取り組んでいる。特に、1・2学期に行った町探検やスーパーマーケット見学などの体験活動を伴う調べ学習を好み、自分の疑問を追究するために積極的にインタビューをしたり、見学したりできる児童も多い。

祖父母と同居している児童は少なく、昔のことについて話を聞いたことのある児童はあまりいない。知っている昔の道具も洗濯板やたらい、かまど、火鉢と種類は少なく、一つの道具の変遷について知っている児童はいない。また、昔の生活の様子についても、具体的にイメージできる児童は少ない上に、その背景にある人々の知恵や工夫についてまで考えている児童はいない。

(2) 教材観

本単元は、学習指導要領の内容(5)のAに関する単元であり、古くから残る暮らしにかかわる道具、それらを使っていたころの暮らしの様子を調べることを通して、地域の人々の生活の今昔の違いや変化、過去の生活における人々の生活の知恵を考えることをねらいとしている。

古くから残る暮らしに関わる道具やそれらを使っていた頃の暮らしの様子を具体的に調べることで、それらを使っていた頃と現在の生活の様子を比べ変化を理解することができる。さらに、先人の暮らしの知恵や豊かな生活への願いや努力、工夫を考えることにもなり、先人への尊敬や感謝の思いを抱いたり、これから将来に生きる自分の生き方を考えたりすることにもつながる教材であると考えられる。

(3) 指導観

物が豊富で便利な時代に生きる子ども達は、あえて昔の道具に興味をもち、もっと知りたいという意識は低いのではないかと考える。そこで単元の導入では、今では使われていないランプを提示する。暗い室内でランプを灯すことでまるで過去にタイムスリップしたかのような感覚にひたらせ、そこでの活動を十分に行うことで、昔の道具や暮らしに関する興味や気づきを引き出す。さらにその後には蛍光灯を点け、ランプの明るさと現代の蛍光灯の明るさを比較することで、道具の進化にも触れることができるようにする。このようにして、導入の段階で児童の興味関心や思考が動き出す場面を設定することで、今後の活動で追究していきたいと心から感じる昔の道具や暮らしに対するさまざまな疑問を引き出せるようにしたい。

昔の道具や暮らしについて調べる活動では、家族からの聞き取り調査、地域にある歴史館の見学、地域の高齢者をGTに招いての道具体験など、人との関わりを十分に行うようにする。そのことで、道具の変遷ばかりでなく、それに伴う人々の暮らしの変化やその背景にある先人の知恵や努力に気付くことができるようにしたい。また、洗濯板や炭火アイロンなどの道具を使った体験活動を行うことは、先人の生活の苦労や工夫を実感を伴って理解することにもつながると考える。体験活動の後には、調べたことやそこから考えたことを自分の言葉で表現する活動を効果的に取り入れ、自分の考えを整理したり、友達との話し合いを通して多面的な見方や考え方に触れたりすることで、一人ひとりの児童の思考の深まりや広がりを図れるようにしていきたい。

単元の最後には調べてきたことや考えたことを根拠に話し合う活動を行い、単元のねらいに迫っていきけるようにする。また、現在の道具や暮らしばかりでなく、昔の道具や暮らしにも良さがあるという気づきも大切に扱い、「本当の良さとは・・・？」と問い、オープンエンドで終わらせることで、児童の思考を続けさせ、自分の生き方を考えるきっかけとなるようにしたい。

4 本時の指導（1時）

(1) 目標

- 今と昔の道具や暮らしの違いや変化に気付き、追究したい問題を見出し、表現することができる。
(社会的な思考・判断・表現)

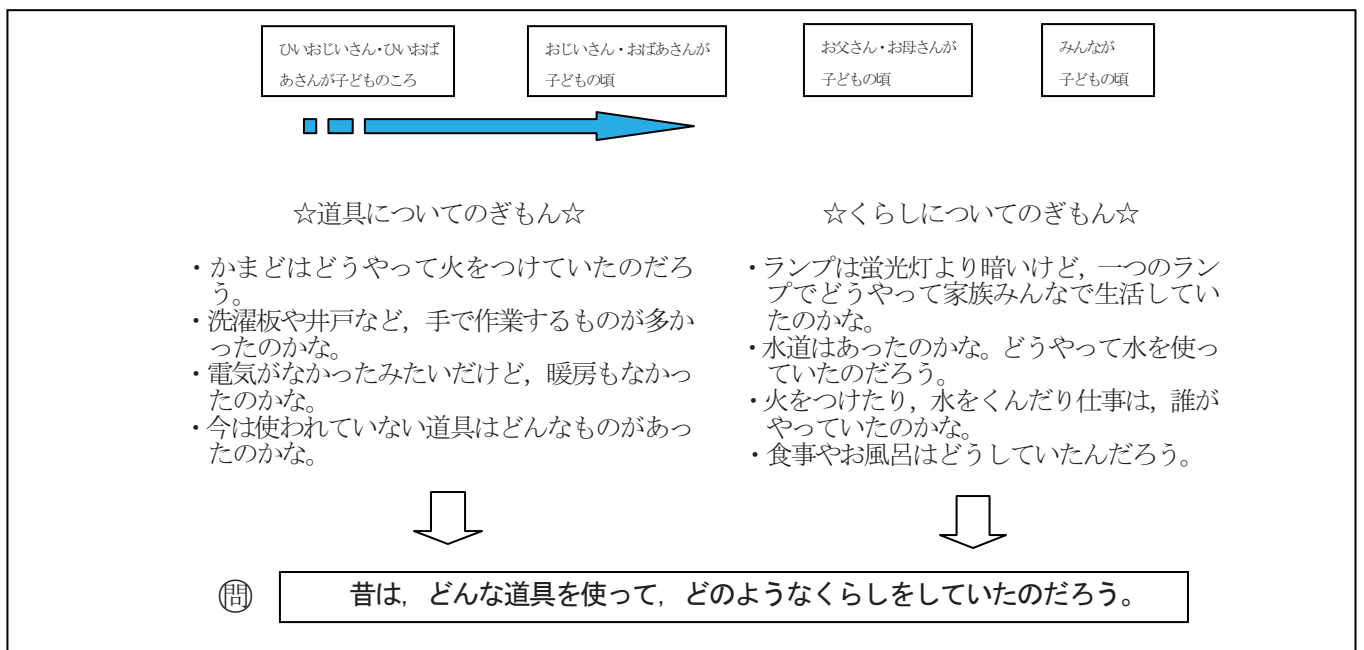
(2) 準備・資料

ランプ、ノート、ホワイトボード、昔の道具や暮らしの様子分かる絵

(3) 展開

学習内容・活動（学習形態・時間）	○指導上の留意点 ◎評価
<p>1 室内を暗くし、ランプの明るさを体感する。 (全体・15分)</p> <p>[ランプの明かりの中で]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 文字を読んでみる。 ○ 手遊びを試してみる。 <p>・思ったより明るい！ ・文字も読めるし、友達の顔も見える。 ・遠くまでは見えないから、近くに集まればいいね。</p> <p>2 蛍光灯の明るさの中で、昔の道具や暮らしの様子について、考えたことを発表する。 (全体・20分)</p> <p>[蛍光灯の明かりの中で]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ランプとの違いについて話し合う。 ○ 昔の道具や暮らしについて知りたいことを話し合う。 <p>・すごい！全然明るさがランプと違うね。 ・明るいよ。遠くに離れても見えるね。 ・明かりが変わったみたいに、他の道具にも変わってきたものがあるのかな。</p> <p>3 全体の話し合いから追究したい問題を見出し、次時からの見通しをもつ。 (全体・10分)</p> <p>㊦ 昔は、どんな道具を使って、どのような暮らしをしていたのだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ランプと蛍光灯の明かりの違いが明確に分かるように、室内を黒カーテンで暗くしておく。 ○ ランプを見たことのない児童が多くいるだろうことを考え、いつごろ使われていた道具であるかを簡単に説明する。 ○ ランプの明かりを灯しながらランプや昔の道具や暮らしのようすについて想像し、意見を交わし合う時間を取るようにする。 ○ 一度ランプを消し、しばらくしてから蛍光灯を点けることで、ランプから蛍光灯への変化を明確にとらえやすくする。 ○ 「昔は大変そう」「楽しそう」などさまざまな感想をもつ児童の考えを広く受容し、自由に発言できる雰囲気をつくる。 ○ 必要に応じて「昔の道具や暮らしの様子分かる絵」を提示し、より多くの疑問を引き出せるようにする。 ○ 発言の中で「道具に関する疑問」と「暮らしに関する疑問」を分けて板書し、何を調べていきたいのかを視覚的にも分かりやすくする。 ○ 道具や暮らしの変化に気付いた児童の発言をさりげなく称賛し、次時からの活動のヒントとなるようにする。 ◎ 今と昔の道具や暮らしの違いや変化に気付き、追究したい問題を見出し、表現している。 (発言・ノート)

5 板書計画



4 本時の指導（10時）

(1) 目標

- 今まで調べたことやまとめた絵年表をもとに今と昔を比較することで、道具やくらしがどのように変わってきたのか考え、よりよいくらしをしたいという人々の努力や願いに気付くことができる。

(社会的な思考・判断・表現)

(2) 準備・資料

絵年表、昔のくらしの様子が分かる写真・道具、今のくらしの様子が分かる写真・道具

(3) 展開

学習内容・活動	○指導上の留意点 ◎評価
<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>㊦ 道具やくらしはどのように変わってきたのだろうか。</p> </div> <p>2 今と昔を比較して、道具やくらしがどのように変わってきたのかを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 火鉢やねこたつがストーブやヒーターになった。 ・ 洗濯板がマジック洗濯機になって二層式の洗濯機になって、今の全自動洗濯機になった。 ・ 電話は、ダイヤル式のものからボタンになった。 ・ 釜でご飯を炊いていたけど、今は炊飯ジャーだね。 ・ 昔は火鉢やアイロンみたいに炭や火を使うものが多かったけど、今は電気が変わってきているね。 ・ 昔の道具は手間がかかるよ。洗濯板は靴下1つだったけどとても大変だったから。今はスイッチ1つだから便利になってきたね。 ・ 道具が変わるにつれて、くらしも変わってきたね。 ・ 昔は、ご飯を作るのにも時間がかかったからお母さんは早起きをしていた。でも今は、便利になって自由に使える時間ができたね。 ・ 家事に時間がかからなくなったから、お母さんも外で働いたりできるようになったね。 ・ 子どもも家事を手伝っていたって言ってたけど、今は少ないから習いごとにもいけるようになったね。 ・ ひのしが上手に使いえなかった。昔の道具は使うのにコツが必要だったけど、今はボタン1つで誰でも使えるようになったね。 ・ 昔の人が、もっと便利になるように、もっと楽になるようにといういろいろ考えて新しい道具を作ってきて、くらしも変わってきたんだね。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>よりよいくらしがしたいという願いや努力があって、くらしがよりよいものにかわってきたんだね。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ でも、すり鉢みたいに変わらずにそのままの形で残って使われている道具もあるね。 ・ おばあちゃんの家では、今もお釜を使ってご飯をたくよ。 ・ 釜で炊いたご飯はとてもおいしいって言ってた。鯉節もおいしかったよね。昔の作り方は手間はかかるけど、おいしかったんじゃないかな。 ・ おいしさよりも楽になるように変わってきたのかな。 ・ 昔の道具にもいろいろ工夫があって便利だから、便利なものを選んで使っているんじゃないかな。 ・ 電気やガスで使うものは、大きな地震が起こった時には使えなくなってとても大変だったよ。 ・ 火鉢や井戸だったら、地震があっても大丈夫だね。 ・ 災害には弱くなってきているのかな。 ・ 今のいいところと昔のいいところがうまくまざりあっていけるといいね。 <p>3 話し合ったことをもとに自分の考えを書き、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昔のくらしにも昔の人の工夫があって、便利なものがある。 ・ 昔の人の知恵や努力、こうなりたいという願いがあって道具やくらしが少しずつ変わってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時にまとめた自分の考えをもとに話し合いを進める時間であることを伝え、スムーズに学習に入れるようにする。 ○ 今までに学習した道具の実物や写真、絵年表を見ながら話し合いができるように掲示しておく。 ○ 見てきたことや体験してきたことを生かしながら、根拠をもって話し合いができるように、「○○だから～」という言い方ができている児童を取り上げ手本となるように広めていく。 ○ くらしに関する発言と道具に関する発言が混ざってしまわないように、板書の工夫をする。 ○ 話し合いが一部の児童によって進行しまう場合は、小グループでの交流時間を設ける。 ○ 今のくらしが便利になってきたという内容だけにならないように、事前に児童のワークシートに目を通したり、切り返しの発問を準備したりしておく。(例:「なぜ今の便利なくらしができるようになったのか。」) ○ 友達の発表を聞いて比べたり、つけたしたりしながら発表することができるように、「つなぐ言葉」を使っている児童を称賛する。 ○ 人々の願いや努力があつてくらしがよりよいものに変わってきたということを共通理解できるようにし、必要に応じて話し合いを止めるようにする。 ○ 便利だけでなく、不便ななかにも昔のよさがあるということに気付き、よりよいくらしとは何かという疑問をさらにもたせ、オープンエンドで終わりにしたい。 ○ 便利に変わってきたという事実を押さえたうえで、昔や今のくらしのよいところや将来のことを考えている児童の思いも大切に、自分なりの考えを書く時間を設けるようにする。 ◎ 今まで調べたことやまとめた絵年表をもとに今と昔を比較することで、道具やくらしがどのように変わってきたのか考え、よりよいくらしをしたいという人々の努力や願いに気付くことができる。(発言・ワークシート) ○ なかなか考えがまとまらない児童には、「道具」「くらし」などのキーワードを個に応じて与え、それを使ってまとめられるように支援する。

次	活動の流れ	評価計画
第一次	<p><第1時>（本時）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 暗い室内で、ランプの明るさを体感する。 <ul style="list-style-type: none"> ・真っ暗の中でランプがつくと明るいね。 ・近くだとよく見えるけど、少し離れると暗くて見えづらいね。生活しづらそうだね。 ○ 蛍光灯の明るさの中で、昔の道具やくらしの様子について話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・すごい！全然明るさがランプと違うね。 ・明るいよ。遠くに離れても見えるね。 ・遠くも見えるし、ランプの時よりはっきり見えるね。 ・ランプは蛍光灯より暗いけど、どうやって家族みんなで生活していたのかな。 ・昔は洗濯板を使っていたみたいだけど、洗濯機はなかったのかな。 ・火を使っていたってことは電気がなかったのかな。どんな道具を使っていたんだろう。 <p>問 昔はどんな道具を使って、どのようなくらしをしていたのだろう。</p>	<p>◇ 今と昔の道具やくらしの違いや変化に気が付き、追究したい問題を見出し、表現することができる。</p> <p>（思・判・表）</p>
第二次	<p><第2時></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「水戸の学問所」（五軒小学校内）で、古い道具探しをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・見たことのないものがたくさんあるね。 ・昔のそろばんみたいだね。 ・洗濯板はお店に売っているのを見たことあるよ。今の洗濯機みたいだね。 ・どうやって使うのだろう。 ・だれが使っていたのかなあ。 <p>家庭学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 祖父母や近所の高齢者など、身近な人から昔の道具の名前や使い方、使われていた時期、当時のくらしの様子を聞いたり、図書資料などで調べたりする。 <p><第3・4時></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 歴史館見学をする。 <p><第5時></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 体験したことや調べたことをまとめ、さらに追究したい疑問を整理する。 <p><第6・7時></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ GTに昔の道具の使い方を教えてもらったり、くらしの様子を聞いたりする。 <p>洗濯板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬は洗濯するのは手が冷たいね。 ・洗濯物がたくさんあったら洗うのが大変だ。 ・鉄でできているから重いね。 ・炭火アイロンは今のアイロンににているね。 <p>アイロン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思ったより汚れがよくおちるね。 ・洗濯機よりきれいになるね。 ・思ったより、しわがのびるよ。 <p>火鉢・ねこごたつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とてもあたたかいね。 ・みんなで顔を合わせてお話ができるね。 ・ここで芋やおもちも焼けるだって。いろいろなことに使えて便利だね。 <p><第8時></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 体験したことや調べた事をもとに、昔の道具やくらしについて話し合おう。 <ul style="list-style-type: none"> ・洗濯板も炭火アイロンも上手に使うのは難しかったよ。 ・昔は時間のかかるものが多かったから、お母さんは早起きをしていたんだね。 ・アイロンやコンロなど電気を使わないものが多いね。 ・一つものをいろいろなことに使っていて、とても工夫しているなどと思った。 ・子どもが蒺藋りをしてたって聞いたよ。家族で協力していたんだね。 ・電気やガスがなかったから、今より時間がかかって不便だったかな。 ・身の回りにあるものを使って、知恵をしぼって道具を作ったり、使ったりしていたんだね。 <p>答 昔の道具やくらしには、その時代の人の知恵や工夫がたくさんつまっている。</p> <p>問 昔の道具やくらしは、どのようにして今の道具やくらしに変わってきたのだろう。</p>	<p>◇ 昔の道具やくらしに関心を持ち、意欲的に調べている。</p> <p>（関・意・態）</p> <p>◇ 体験的な活動を通して、昔の道具やくらしについて必要な情報を集めノートにまとめている。</p> <p>（技能）</p> <p>◇ 今と昔の道具やくらしの違いから、昔の人々の知恵や工夫、願いについて考え、自分の言葉で表現している。</p> <p>（思・判・表）</p>
第三次	<p><第9時></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 調べてきたことをもとに絵年表をつくり、道具の移り変わりやくらしの変化について自分の考えをもつ。 ・アイロンは、ひのしやこてから炭火アイロンに変わって、今のアイロンになったんだね。 ・かまどや火鉢のように炭や火を使っていたものが、ガスコンロやIHのように変わってきているね。 ・洗濯するのにも、時代によって何度も姿を変えてきているんだね。 <p><第10時></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 道具が変わってきたことで、くらしがどのように変わってきたのかを話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・アイロンやランプみたいに昔は火を使うものが多かったけど、今は電気が多いね。 ・炭も何度も使えたり、昔の方がエコな生活だったと思う。 ・自然には優しいかもしれないけど、手間がかかるよ。今の道具のほうがいろいろ便利。 ・昔の道具は、使うのが難しそうでコツが必要だったけど、今の道具はボタンひとつのものが多くてだれでもかんたんに使えそう。 ・洗濯は、昔は洗濯板で時間がかかったけど、今は全自動になって短い時間で家事ができるようになった。 ・短い時間で家事ができて便利になったから、今まで家事に使っていた時間を自由に使えるようになってきたと思う。 ・道具が変わるにつれて、くらしも変わってきたね。 ・昔の人がもっと便利になるようにいろいろ考え新しい道具を作ってきたからかな。 ・すり鉢みたいに変わらずにそのままの形で残って使われている道具もあるね。 ・昔の人のもっと楽にもっと便利になりたいという思いが道具を変え、くらしを変えてきたんだね。 <p>答 もっとこうなりたいという人々の願いや努力があって道具が変わり、それに合わせてくらしも変わってきた。</p>	<p>◇ 道具の移り変わりを絵年表にまとめている。</p> <p>（技能）</p> <p>◇ まとめたことをもとにくらしの移り変わりを人々の知恵や工夫、願いと関連付けて考えている。</p> <p>（思・判・表）</p> <p>◇ 人々のくらしの変化やそれが人々の願いや知恵によるものと理解している。</p> <p>（知・理）</p>